



SECCION DE MUSICA

SECCION DE MUSICA

出演者と演目

日本芸能 美と魅力の出会い

- ◆新内（素浄瑠璃） 蘭蝶

浄瑠璃	新内節	人間国宝	鶴賀	若狭掾
三味線			鶴賀	伊勢吉
上調子			鶴賀	伊勢幸

- ◆新内と舞踏 広重八景

立方	浄瑠璃・三味線	上調子	花柳	貴比
			鶴賀	伊勢吉
			鶴賀	伊勢幸

- ◆ギター演奏

		河野	智美
--	--	----	----

- ◆新内と車人形（人形浄瑠璃） 東海道中膝栗毛

浄瑠璃	新内節	人間国宝	鶴賀	若狭掾
三味線			鶴賀	伊勢吉
上調子			鶴賀	伊勢幸

八王子車人形「西川古柳座」

新内浄瑠璃の語りと三味線の調べに、
 日本舞踏と車人形が共演
 クラシックギターの演奏もお楽しみください

Salón de Actos

Calle del Prado, 21

Salón de Actos

Calle del Prado, 21

Programa

1、蘭蝶（らんちょう）

初代 鶴賀若狭掾（つるがわかさのじょう）作であり、新内節の代表曲。

川屋蘭蝶という声色身振師（男芸者）は遊女「此糸（このいと）」になじみ、女房「お宮」が身を売った金まで入れ上げてしまう。お宮は此糸に会い、蘭蝶と縁を切ると頼む。此糸はお宮の心情を汲んで別れる事を承知して、お宮を返す。隣の部屋でこれを聞いていた蘭蝶は、此糸が死ぬ覚悟であることを見抜いて、蘭蝶と此糸は心中する。

2、広重八景（ひろしげはっけい）

江戸時代の浮世絵師 安藤広重（あんどひろしげ）の描いた江戸名所の連作を詩に読み込んだ詩情豊かな作品。日本橋、浅草、隅田川、吉原、深川、両国、佃島などの馴染み深い江戸の地名や風俗などを織り込んだ品格と色気ある雰囲気になっている。

【新内節とは？】

日本の三味線音楽には浄瑠璃というジャンルがあり、新内節は浄瑠璃です。浄瑠璃は三味線を伴奏に物語を語るものです。今から300年前に生まれた初代鶴賀若狭掾によって生み出された多くの作品が、現在でも伝承継承され語り継がれています。現在の鶴賀若狭掾は第11代目となります。今日に伝わる新内は、さらに洗練されて高低の旋律が変化に富み、哀調切々と繊細に、また大胆に聞く人の心に訴えます。

Programa

3、クラシックギター演奏

アルハンブラ宮殿の思い出	(F.タレガ)
アストゥリアス	(I.アルベニス)
カヴァティーナ	(S.マイヤーズ)
サパテアード	(R.S.デ・ラ・マーサ)

4、東海道中膝栗毛（弥次喜多）－赤坂並木～卵塔場－

江戸時代の作家である十返舎一九が書いた滑稽本（喜劇）の「東海道中膝栗毛」（とうかいどうちゅうひざくりげ）から脚色して新内化されたもので、150年以前に作られた。全部で6段から成り、本日はその内の赤坂並木～卵塔場までの段を演じます。ストーリーは御油の宿はずれの並木道、弥次郎兵衛が狐の面をかぶって喜多八を脅して、からかう言葉のやりとり・この2人のやりとりも洒落や地口（語呂合わせ）が面白い。心中物のような哀しい曲の多い新内の中では珍しいチャリ物（滑稽物）で笑って楽しめる娯楽作品。

【車人形とは？】

車人形は「ろくろ車」という前に2ケ、後ろに1ケの車輪がついた箱型の車に腰かけて、一人の人形遣いが一体の人形を操る人形芝居です。江戸時代の終わり頃から親しまれてきました。世界遺産の「文楽」人形は3人で一体を動かしますが、1人で操ることにより、少人数で簡易な舞台での公演を可能にしました。その合理性から、様々なジャンルとの共演も可能で、演出の幅が広いのが特徴です。